

# みしま

お盆休みに帰省された皆さん

## 忘れないで 豪雪の冬を

雪の中の暮らしを思い出してください。ふるさとの家族は、雪と戦い、雪とともに生きています。全国各地で記録的な大雪となった「平成18年豪雪」。三島町でも、一人暮らし、二人暮らしの高齢者世帯で除雪が困難となり、多くのボランティアの支援を受けました。

三島町は人口の約半数が高齢者。隣近所での助け合いにも限界があります。「心配するな」という家族の言葉に甘えずに、次は雪の季節に帰省し、少しでも助けてあげてください。

(写真/大石田地区・平成18年2月4日撮影)

2009

8

広報みしま No. 197

Pickup 町の話



2



3

1 あいさつする三島町商工会青年部の齋藤大輔部長  
2 講演する(株)JTBの清水慎一常務取締役  
3 約100人が参加した只見川ライン商工会青年部セミナー

Pickup 1  
「着地型観光」の実践で  
人が集まる只見川ラインに  
(株)JTB 清水慎一常務取締役が講演

(株)JTBの清水慎一常務取締役を講師に招いた只見川ライン商工会青年部セミナーは7月13日、町民センターで開催され、町内や近隣町村などから約100人が参加しました。まず、三島町商工会青年部の齋藤大輔部長(宮下)が主催者あいさつとして「只見川ラインが連携し、自分たちで何ができるか考え、地域活性化につな

げたいと思います」と話しました。続いて、清水氏が講演し、「これからの観光は、地元で企画・運営し、多くの住民がかかる着地型観光です。今の観光客は、地域をじっくりと味わうことを求めています。地域の価値に気付き、アイデアを出し合い、自らの工夫で起業することが大切です」と話しました。



1



2

1 長坂の井桁状のブロックの間に、シバザクラを植える宮下・荒屋敷地区地域懇談会の皆さん  
2 植えられたシバザクラ

Pickup 2  
町の美化運動に取り組む  
宮下・荒屋敷地区地域懇談会  
長坂のブロックに、シバザクラを植える

宮下・荒屋敷地区地域懇談会の皆さんは7月10日、長坂の井桁状のブロックの間にシバザクラを植えました。地区の入り口である長坂を、明るい雰囲気にするために行われたものです。同懇談会の佐久間宗一会長(宮下)は「地域の皆さんが一体となって、今後も美化運動を進めていきたいと思います」と話しています。

同懇談会では今後、「うつくしまの道・サポート制度」を利用し、地域住民、町、県が連携しながら、きれいな町の景観をつくっていくことを目指しています。福島県宮下土木事務所佐藤岩男所長は「地域の方々だけではできないことを県がサポートし、きれいな景観をつくるお手伝いできればと思います」と話しています。



2



4



1 川井地区にある第3集荷場に搬入されたカスミンウ  
2 カスミンウ生産者の皆さん。左から、長谷川タケノさん(川井)、五十嵐健二さん(名入)、秦京子さん(大石田)、角田亀好さん(川井)、天野昭一さん(柳津町牧沢)  
3 毎週3回、大型トラックで全国各地の市場へ出荷される  
4 役場受付に飾られたカスミンウ

花言葉は  
清らかな心  
三島のカスミンウ  
心を込めて全国へ出荷

カスミンウは例年5月から11月にかけて、全国12カ所の市場へ出荷されています。昭和村、金山町、三島町、柳津町の生産者30人が所属している「昭和花き研究会」により、各市場からの注文に応じて生産、出荷されています。三島町では4人の生産者が、毎週3回、川井地区にある第3集荷場からカスミンウを出荷しています。角田亀好さん(川井)は「平成元年からカスミンウ栽培を始め、今年で21年目になりました。生産者みんなで品質を向上させ、クレームもなく安心して出荷できています」と話しています。

カスミンウには、ポラリス、スノーベール、雪ん子360などさまざまな品種があり、ピンクや青に染めたものもあります。花がしおれないように、水を吸わせた状態で梱包され、大型トラックで各市場へ直送されます。長谷川タケノさん(川井)は「出荷で忙しい時期は大変ですが、花作りは楽しいし面白いですよ。おかげで元気でいられます」と話しています。カスミンウの花言葉は「清らかな心」。三島から心を込めて全国へ送られたカスミンウは、きつと多くの人々を清らかな気持ちにさせていることでしょう。

何だってできる！  
可能性を引き出し  
夢を実現したい



熱く語り合う八木周作さん(左)と川合正裕さん(右)

### 八木さんと川合さん トークライブ

八木周作さん(宮下)と川合正裕さん(宮下)の「いまここトークライブ」は7月19日、いまここカフェ(旧物産館)で行われ、約20人が来場しました。八木さんは旧物産館で活動を始めた「いまここネット」の代表で東京都出身。川合さんは東北芸術工科大(山形)博士課程在学中で大阪府出身。二人は、三島に来て感じたことや三島の良さ、実現したい夢などについて真剣に語り合い、最後にギター演奏や歌も披露しました。

また、同会場では川合さんが「虫送り」などを撮影した写真展「三島の祭り」が、16日から20日まで行われました。

ワークショップで  
みんなの希望を  
書き出す



町民センターで行われたワークショップ

### テーマは子育て・定住 三島の未来をつくる会

子育てや若者定住について話し合う「三島の未来をつくる会」の第1回ワークショップは7月30日、町民センターで行われ、役場若手職員10人と住民の皆さん4人が参加しました。ワークショップとは、参加者が共同作業を行いながら課題や解決策を見つけていくものです。緊張を解くために、楽しいゲームなども取り入れながら行われます。今回は「こんな町だったらいいな」ということを数多く書き出し、それを分類して整理する作業が行われました。参加者が非常に少なかったため、町では再度参加者を募集し、皆さんと一緒に進めたいと考えています。

救急車の到着まで  
平均6分  
命を救うには…



ダミー人形を使った心肺蘇生法の訓練

### 婦人会の皆さんが 心肺蘇生法を学ぶ

婦人会宮下支部の主催による普通救命講習は7月16日、宮下活性化センターで行われ、町内から約20人が参加しました。会津坂下消防署三島出張所の長嶺裕康所長、高橋広之消防士長の指導のもと、ダミー人形を使った人工呼吸・心臓マッサージ・AED(自動体外式除細動器)の訓練が行われました。参加者は、その場に居合わせた人の応急手当てが、人命救助につながることを学んでいました。



宮下活性化センターで行われた普通救命講習

フルートの  
癒やしの音色に  
包まれる



宮下病院で行われたフルートの演奏

### 宮下病院で 七夕コンサート

宮下病院で7月7日、七夕にちなんでフルートのコンサートが行われました。フルート奏者の岩沢麻実さん(会津若松市)が、「世界に一つだけの花」や「星に願いを」など約10曲を演奏。コンサートは外来受付ロビーや病棟廊下で計4回行われ、外来患者や入院患者の方々が、フルートの美しい音色に聞き入っていました。



フルート奏者の岩沢麻実さん

交通量が増える夏  
手作りのお守りで  
安全運転呼び掛け



ドライバーにお守りを手渡しして安全運転を呼び掛けた

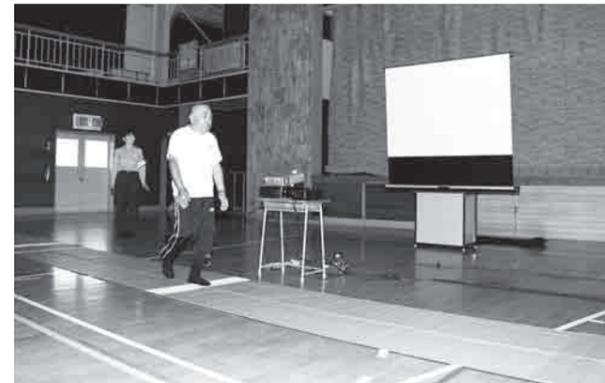
### 国道252号沿いで 街頭キャンペーン

「夏の交通事故防止県民総ぐるみ運動」に合わせた街頭キャンペーンは7月17日、川井地区の国道252号沿いで行われました。町交通対策協議会、交通安全協会三島分会、町交通安全母の会、会津坂下警察署、県宮下土木事務所が参加。町交通安全母の会の大竹祐子会長(滝谷)、小松けい子さん(西方)、川島リツ子さん(大石田)が、ドライバーに手作りのお守りを手渡しして安全運転を呼び掛けました。



国道252号沿いで行われた街頭キャンペーン

「大丈夫だべ…」  
その判断が命取り  
遠くに見えた車が  
一気に迫ってくる



特殊な装置を使って道路横断の模擬体験をする参加者

### 西方・名入・大石田地区の 高齢者交通教室

高齢者交通教室は7月22日、森の校舎カタクリ体育館で行われ、西方・名入・大石田地区の60歳以上の皆さん約50人が参加しました。福島県警察本部交通企画課の吉田部長、折笠巡視員が講師を務め、特殊な装置を使って道路横断の模擬体験を実施しました。参加者が道路を渡る姿と、近づいてくる車がスクリーンに映し出され、道路を渡り切る数秒のうちに、一気に迫ってくる車のスピードを体感しました。また、会津坂下警察署の関根交通係長、三島駐在所の鈴木巡查部長が、高齢者の交通事故の現状などについて講話しました。参加した皆さんは、加齢によって事故の危険性が増すことを再認識していました。



森の校舎カタクリ体育館で行われた高齢者交通教室



# みしまの出来事

身近な情報をお寄せください。 ☎(48)5515



エストニアのエヘルヘイン少女合唱団の公演が7月26日、交流センター山びこで行われ、約150人が来場しました。エストニアは長い間他国の支配を受けてきた歴史があります。歌を愛し、歌うことで困難を乗り越え、独立を成し遂げた国です。数々の国際コンクールで優勝した世界一の歌声が、会場に響き渡りました。

# 本 町民センター図書コーナー ゆめぽけっと

●利用時間 月～土 9:00～21:00  
日・祝 9:00～17:00  
●お休み 年末年始  
●教育委員会 ☎(48)5599

幼児・小学生向け

## おー、うんこ

松下美砂子・作  
架空社

食べることが大好きなぶたは、昼も夜も食べ続けました。すると突然おなかの痛みになりました。ぶたは、食べたものは出さなくてはいけないことを知りました…。



一般

## 御宿かわせみ

平岩弓枝・著  
文藝春秋

小さな旅籠「かわせみ」に泊まる人たちをめぐって起こる事件の数々を、宿の女主人のいと恋人神林東吾が解決していきます。江戸の下町情緒あふれる小説です。



一般

## 剣客商売 暗殺者

池波正太郎・著  
新潮社

剣術一筋に生きる白髪の粋な小男と、浅黒くたくましい息子が、江戸中期を舞台に活躍する痛快な時代小説シリーズです。



一般

## 鬼平犯科帳 1

池波正太郎・著  
文藝春秋

幕府の火付盗賊改方の長官、長谷川平蔵。盗賊たちには「鬼の平蔵」と恐れられているが、その素顔は義理人情を心得た苦勞人。テレビや舞台でも人気の鬼平シリーズです。



## 国保ヘルスアップ事業実施本部会議

### ▶ 町民みんなの健康づくりのために ◀

国保ヘルスアップ事業実施本部会議は7月27日、町民センターで開催されました。福島県立医科大学医学部の安村誠司教授、福島県会津保健福祉事務所の山口靖明所長、齋藤医院の齋藤賢夫院長など、委員11人が出席しました。会議では、平成20年度の国保ヘルスアップ事業の実施状況の評価、平成21年度の事業実施計画について話し合われました。また、一人当たりの国保医療費が、平成19年に比べ平成20年は99,519円減額になったことが報告されました。委員からは「町民みんなでラジオ体操をやる」など、町全体で健康づくりに取り組むための提案がありました。事業の最終年度となる今年度は、



国保ヘルスアップ事業実施本部会議

先駆的モデル事業として全国13カ所の一つに採択され、町民アンケート調査や訪問指導などを実施する予定です。

● 役場 町民課 保健福祉係 ☎(48)5565

## ◎夏休み子どもプログラム◎

### みしまの語り部になろう

8月19日に発表会

夏休み子どもプログラム「みしまの語り部になろう」の第1回目の教室は7月24日、町民センターで行われ、6人の小学生が参加しました。民話の語り部として活躍している五十嵐七重さん（西方）が講師を務め、子どもたちは昔話の練習をしました。今後、3回の教室を行い、8月19日には発表会を行う予定です。

● 教育委員会 ☎(48)5599



五十嵐七重さん(写真右)から、三島町に伝わる昔話を教わる子どもたち



模擬裁判が行われた法廷

### ■対象となる主な事件

①殺人②強盗致死傷③傷害致死④危険運転致死⑤現住建造物等放火⑥身代金目的誘拐⑦保護責任者遺棄致死など

### ■裁判員候補者

20歳以上の全国民の中から、くじで選ばれ候補者名簿に記載された人です。

● 福島地方裁判所 総務課  
☎024(534)2156

今年5月21日からスタートした「裁判員制度」は、選挙権のある全国民の中から選ばれる6人の裁判員が、3人の裁判官と一緒に刑事裁判に参加し、被告人の有罪、無罪、そしてどのような刑にするかを決めるものです。これまでの刑事裁判は、裁判官、検察官や弁護人など「法律の専門家」だけで行われていました。専門的見地を重視するために内容や判決が分かりにくかったり、閉鎖的なイメージだったりして、わたしたち国民とは疎遠なものでした。

「裁判員制度」の導入によって、裁判の進め方や判決に、国民の視点や感覚が反映されるようになります。国民が刑事裁判に参加する制度は、アメリカやイギリスなど多くの国で導入されています。三島町在住の人が裁判員候補者に選ばれた場合は、郡山市にある福島地方裁判所郡山支部に来ていただくことになります。対象事件は、殺人などの重大な犯罪に関する刑事訴訟事件です。同支部管轄区域の裁判員候補者数は2350人です。

## 裁判員制度がスタート 国民の感覚を刑事裁判に反映

9月2日(水) 10:00～

# 三島町敬老会

場所 / 森の校舎カタクリ体育館 (西方)

### ◎招待者

75歳以上の町民の皆さん (平成21年9月15日現在)

※役場から案内をお届けします。

### ◎表彰

金婚夫婦表彰、米寿・白寿表彰

### ◎芸能

多くのご要望にお応えし、舞踊タレントによる歌芝居を予定しています。

● 役場 町民課 保健福祉係 ☎(48)5565

### ◎新企画◎

涙と感動の歌芝居

## 大橋兄弟

日本舞踊タレントとして活躍中の大橋兄弟。舞踊ショー、歌謡ショー、ものまねなど、楽しいステージを繰り広げます。どうぞお楽しみに。



皆さまお誘い合わせの上、どうぞご来場ください

これからの行事予定 town schedule

- 8月9日(日) 「てわっさの里みやした」定期公開日(宮下)
- 8月14日(金) 地区対抗ソフトボール大会 8:00~(町民運動場)
- 8月15日(土) 三島町成人式 10:00~(交流センター山びこ) 大谷川河川まつり 10:30~(大谷川河川敷公園)
- 9月2日(水) 三島町敬老会 10:00~(森の校舎カタクリ体育館)
- 9月3日(木) 民生児童委員協議会定例会 13:30~(福寿草)

第5回  
**早戸温泉神社まつり**  
8月22日(土) 10:00~21:00  
場所 / 早戸温泉つるの湯



10:00 つるの湯屋台村開始  
ビンゴゲーム第1弾  
14:00 昔語り  
15:00 スイカ割り  
16:00 ビンゴゲーム第2弾  
17:30 芸能発表  
20:00 温泉神社奉納花火大会

◎只見川対岸への渡し船  
◎つるの湯入浴ポイント2倍 ※18:00まで  
◎只見川山峡下り10%割引

【屋台村】ラーメン、生そば、太郎布高原のイチゴシャーベット、会津地鶏焼き鳥、たこ焼き、イワナの塩焼き、金魚すくい ほか

☎ 早戸温泉つるの湯 ☎ 0241(52)3324

歳時記 萌の会

故郷の緑りが好きで深呼吸  
結界を出でし天狗の半夏祭

神鈴の音のこもりて梅雨深し  
又ひとつ希いを増やし星今宵

西方 小柴 六進子  
宮下 栗城 幸子

みんなで健康づくり《保健事業の予定》  
☎ 役場 町民課 保健福祉係 ☎ (48) 5565

**機能訓練会**  
8月19日(水) 14:00~ 福寿草

**心の健康相談**  
8月20日(木) 13:30~ 福寿草

**ヘルスアップえいよう教室**  
8月21日(金) 13:30~ 町民センター

**乳幼児健診**  
8月25日(火) 13:00~ 町民センター

**ヘルスアップうんどう教室**  
8月26日(水) 13:30~ 町民センター

**足腰げんき教室(水中運動編)**  
8月27日(木) 8:30 町民センター集合  
西会津さゆり公園プール

**足腰げんき教室(室内運動編)**  
8月31日(月) 9:30~ 町民センター  
9月 4日(金) 9:30~ 町民センター



社会福祉協議会  
**地域ふれあいサロン**

**高清水・小山ふれあいサロン**  
8月11日(火) 10:00~ 高清水集会所

**滝谷和楽塾**  
8月25日(火) 遠足(いわき市)

ご寄附ありがとうございました  
町社会福祉協議会へ ご遺志によるもの

角田 定男 様(浅岐)

**8月の納税**

- 町県民税(普通徴収) 第2期
- 国民健康保険税 第2期
- 介護保険料(普通徴収) 第2期
- 後期高齢者医療保険料(普通徴収) 第1期

※納期限は8月31日です。  
忘れずに納めましょう。

☎ 役場 町民課 町民生活係 ☎ (48) 5555

会津坂下警察署からのお知らせ

**エコ推進・マイバッグ  
4つのルール実践運動**

- ①買い物中はマイバッグを折り畳んでおきましょう(マイバッグは買い物かごの中に)
- ②商品は店の買い物かごに入れます
- ③マイバッグはお会計が済んでから使しましょう
- ④買い物かごは決められた場所に戻しましょう

街頭犯罪等発生状況(1月~6月)

区分	管内	三島町
空き巣ねらい	1	
忍込み	3	
事務所荒し	1	
出店荒し	5	
自動車盗	2	
オートバイ盗		
自転車盗	4	
自販機ねらい	3	
車上ねらい	2	
強制わいせつ		
街頭犯罪計	21	0
全刑法犯	63	1

※全刑法犯には、街頭犯罪以外(器物損壊・暴行・傷害・万引き・詐欺など)の犯罪発生件数が含まれます。

**救命率向上を目指して  
講演会を開催**  
会津坂下消防署 三島出張所

消防署では、救命率の向上を目指して下記のとおり講演会を開催します。多くのご来場をお待ちしています。

◆開催日時  
9月11日(金) 15:00~17:00

◆講演  
「救命率向上を目指して」  
講師 会津若松消防本部 救急救命士「救急講演」  
講師 日本医科大学救急医学教室 主任教授 横田裕行先生

◆場所  
会津若松ワシントンホテル  
主催 / 会津若松地方広域市町村圏整備組合消防本部・会津若松消防署・猪苗代消防署・会津坂下消防署・会津美里消防署  
共催 / 財温知会・会津中央病院・会津地区救命救急センター  
☎ 会津坂下消防署 三島出張所 ☎ (52) 3032

**個人事業税の納税は  
8月と11月です**  
福島県会津地方振興局 県税課

個人事業税は、県内に事務所、事業所を設けて、物品販売業や不動産貸付業など一定の事業を営んでいる方に納めていただく県の税金です。会津地方振興局から送付される納税通知書により、年税額を8月(第1期分)と11月(第2期分)の2回に分けて納めることになっています。ただし、年税額が1万円以下の場合には8月に一括で納めることになっています。便利な口座振替も利用できますので、詳しくは下記までお問い合わせください。

☎ 福島県会津地方振興局 県税課 課税第一課 事業税チーム ☎ 0242(29)5251

**上手に水分を補給して  
夏バテ予防**  
福島県立宮下病院

夏場は汗をたくさんかくため、水分補給が欠かせません。だからといって、水ものをガブガブ飲んでいると胃液が薄まってしまいます。胃液が薄まると、食べ物の消化や、悪い菌を退治するという働きが弱まるため、お腹を壊しやすくなります。一度にまとめて飲まずに、こまめに少しずつ、のどの渇きを感じる前に水分補給を心掛けましょう。

また、飲み物は水や麦茶、ほうじ茶など、糖分の入っていないものを選びましょう。手軽に飲めるペットボトル入り飲料やスポーツドリンクには、多くの糖分が含まれています。糖分の多い飲料を大量に飲み続けていると、高血糖を起こして「\*ペットボトル症候群」と呼ばれる病気にかかることもあります。飲み過ぎには注意しましょう。

\*ペットボトル症候群  
スポーツドリンク、清涼飲料水などを大量に飲み続けることによって起こる急性糖尿病

☎ 福島県立宮下病院事務部 ☎ (52) 2321



飲み過ぎ、糖分の取り過ぎに注意しましょう。

**三島町の人口と世帯  
(7月1日現在)**

人口	2,103	-4	出生	1
男	983	-2	死亡	4
女	1,120	-2	転入	1
世帯	853	+1	転出	2

※住民基本台帳による数値です。



石仏・石塔が点在する早戸地区の「神々の道」



三島学フォーラムでの事例発表

三島学フォーラムは7月19日、町民センターで開催され、約50人が参加しました。町が文化庁の委託を受け進めている「文化財

総合的把握モデル事業」の一環として行われたものです。フォーラムでは、3

地区の事例発表が行われました。大石田地区の五十嵐紋吉さん、飯塚綱雄さんは「虚空蔵堂と大わらじ」について、早戸地区の五十嵐紀美子さん、佐久間長子さんは「神々の道」について、滝谷地区の大竹克明くん（中3）、大竹昌寿くん（小4）、阿部翔兵くん（小4）



滝谷地区の「上ノ山三十三観音」

## 時を越え、語り継がれる物語

### 歴史と文化に触れた「三島学フォーラム」

は「僕たちが伝える鳥追い、サイノカミ」について、それぞれ発表しました。続いて、赤坂憲雄福島県立博物館長を座長として意見交換が行われました。

翌日の20日は、大石田地区、早戸地区、滝谷地区で文化財を巡るウォーキングが行われ、約60人が参加しました。参加者は身近な文化財を巡りながら、三島の古来の物語を感じていました。



1

## 琴伝流大正琴のアンサンブル

### 琴桐会

- 1 大正琴のアンサンブルを練習する「琴桐会」の皆さん
- 2 大正琴は、左手で鍵盤を押さえ、右手で弦を弾いて演奏される

「琴桐会」は大正琴を愛好するサークルです。月2回程度、町民センターで練習しています。会員は現在7人。田崎禮子先生（柳津町）の指導を受けています。

大正琴は、鍵盤を左手で押さえ、右手のピックで弦を弾いて演奏する楽器です。琴伝流大正琴は、ソプラノ、アルト、テナー、ベースに分かれてアンサンブルを演奏する流派で、全国で多くの人々が愛好しています。

8月30日には、会津若松市で開催される発表会に初めて参加する「琴桐会」の皆さん。練習にも力が入り、きれいなアンサンブルを町民センターに響かせています。

■ 教育委員会

☎（48）5599



2

第13回  
うつくしまふくしま琴の会発表会  
8月30日（日）  
場所 / 会津若松市文化センター  
◎開場 10:00 ◎開演 10:30 ◎終演 15:30  
【入場無料】



富士山を描いた大迫力の日本画



室井東志生さん

## 日本画の巨匠 三島で個展

### 室井東志生さんの日本画展

日本を代表する日本画家・室井東志生さんの日本画展は、6月20日から25日にかけて、交流センターやまびこで開催されました。室井さんは下郷町出身。高校時代に2年間、三島町に住んでいたことが縁で、今回の個展が開催されました。会場には舞妓を描いた代表作「花かいだん」など約40点が展示され、来場者はその美しさに見入っていました。

室井さんは「三島の方々に温かく迎えていただき、本当に感謝しています」と話していました。



舞妓を描いた日本画を見る来場者

# 夏の祈り

大石田の「虫送り」

- 1 行列になって掛け声を上げながら集落内を歩く
- 2 次第に日が暮れ、松明たいまつや提灯ちようちんの明かりが夕闇に揺れる
- 3 最後に行事道具をすべて燃やし、豊作を祈願。炎は勢いよく夜空へと燃え上がった



年中行事「虫送り」は7月11日、大石田地区で行われました。この行事は農作物に害のある虫を追い払い、豊作を祈願するものです。地区の子どもたちが代々継承してきましたが、子どもが少なくなつた現在では、他の地区の子どもたちや保護者の方々も参加しています。今回は観光客も加わり、多くの参加者でにぎわいました。

沿道の水田には、たくさんさんのホタルが舞っていました。年中行事を受け継ぐとともに、このきれいな自然環境をいつまでも守っていきましょう。

## 編集後記

▼最近、さまざまな話し合いの場で取り入れられている「ワークシヨップ」。集まった人たちが何かを学んだり、作り出したりのための手法です▼例えば「子育て」をテーマとした場合、①子育ての悩みや不安を書き出す②それを解決するためのアイデアを出し合う③具体的な行動や役割などを決める—というように進め、参加者の意見を集約していきます。声の大きい人の意見が優先されたり、結論が最初から出ているということはありません。楽しく進めるためにゲームなども行われます▼個々の思いは十人十色。大事なのは、違いを理解し、認め合うことです。その過程から、共有できる目標が生まれます▼地域社会でも、それぞれの職場でも、さまざまな課題があると思います。一人で悩まずに、まずは皆さんで集まってみませんか。